

群馬大学 性の多様性 (LGBT/ SOGI)に関する基本的考え

2019年3月13日

I はじめに

国際社会において、LGBT（レズビアン Lesbian=L、ゲイ Gay=G、バイセクシュアル Bisexual=B、トランスジェンダー Transgender=T）という言葉に象徴される性のあり方をはじめとして、多様な性のあり方が存在するという認識が広がってきています。我が国においても、そのことが広く認められるようになってきています。

2011年に国連人権理事会において、我が国も賛同して、SOGI（性的指向・性自認、SO: Sexual Orientation、GI: Gender Identity）に関する決議が採択されました。この決議は、性的指向・性自認を理由とする暴力と差別について、重大な懸念を表明しています。人それぞれには独自の性のあり方、性的指向・性自認があり、それは本来極めて多様なものであるといえます。しかし、その多様性への配慮が十分になされず、少数派の人々の権利が完全には保障されているとはいえない状況も少なからず見受けられます。

基本的人権はすべての人に平等に保障されているものであり、性的指向・性自認のゆえに侵害されることがあってはなりません。

群馬大学は、「大学構成員の自主性、自律性を尊重する」という理念を掲げ、地域に根ざした教育研究を進めています。人種、出身地域、性別、性的指向、性自認等、種々の面での多様性にかかわらず、人々は平等であり、その人権、尊厳は大切に守られるべきものであるとの認識の下、本学は多様な性のあり方についての基本的な考えをここに定め、性別や性的指向・性自認を理由とした差別の解消に向けた取組を進めていきます。

II 基本的考え

- 1 群馬大学は、すべての人々の人権・人格を尊重し、性別や性的指向・性自認を理由とした差別は人権を著しく侵害する行為に他ならないとの認識の下、その解消に向け全構成員が協力し、多様性を認め尊重し合う環境の構築に努めます。
- 2 群馬大学は、多様な性を持つ人々が、尊厳を保ち、学び働くことのできる環境を整備し、大学での自由な生活の保障、大学生活のあらゆる場面での修学と就業の平等の確保に努めます。
- 3 群馬大学は、多様な性のあり方を認め尊重し合える環境を整備し、本人及び周囲の人々が安心して相談し情報提供を受けられる場を設けるとともに、個人情報保護を徹底して行い、アウティング*の予防に努めます。（*本人が公にしていない性的指向や性自認を、了解を得ず公開すること）
- 4 群馬大学は、本学の学生・教職員ひとりひとりが性の多様性を正確に理解し尊重しあえるよう、学内外の意見を広く集め、認識の深化に努めるとともに、多様な性に対する本学の取組を広く情報発信し、社会への働きかけに努めます。